

令和4年度第2回  
関東地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会  
議 事 概 要

- 1 開催日時：令和5年3月2日（木）10時30分～11時30分
- 2 開催場所：関東地方整備局 災害対策本部室（一部 Web 形式）
- 3 出席委員  
委員長 大野正英 麗澤大学 経済学部 教授  
委員 岡本直久 筑波大学 システム情報系 教授  
" 政木道夫 シティユーワ法律事務所 弁護士  
" 三谷和歌子 田辺総合法律事務所 弁護士  
" 山田務 筑波大学 ビジネスサイエンス系客員教授  
(委員は五十音順)
- 4 議 事  
(1) 「利根川下流河川事務所発注業務に係るコンプライアンス違反 及び再発防止について」にかかる具体的な取組の実施状況  
(2) 令和5年度 関東地方整備局コンプライアンス推進計画（案）及び関東地方整備局コンプライアンス推進指針一部改正（案）について

【主な意見】

- ① 職場で実施するストレスチェックをコンプライアンス違反を未然に防止する観点から活用してはどうか。
- ② 情報管理整理役職表については、形骸化せず具体的スケジュールをもって現場の者が実際に活用できるものにしてほしい。
- ③ 発注事務に関する情報について、若手や初任者が理解を深める取組の実施、現場が判断に迷った際には対応を。
- ④ 未受講者のフォローアップを含め講習研修については、内容時期も考慮し必要な注意喚起を繰り返すなど効果的な実施を。
- ⑤ 「やってはいけないこと」を周知するよりは、むしろ、「やったら必ず発覚しますよ」「発覚したらこうなりますよ」を周知した方が効果的では。
- ⑥ 規制的な内容が多いコンプライアンスの中で、職員が萎縮することなく公務員として誇り高い士気を保つ意識改革が必要。

以上